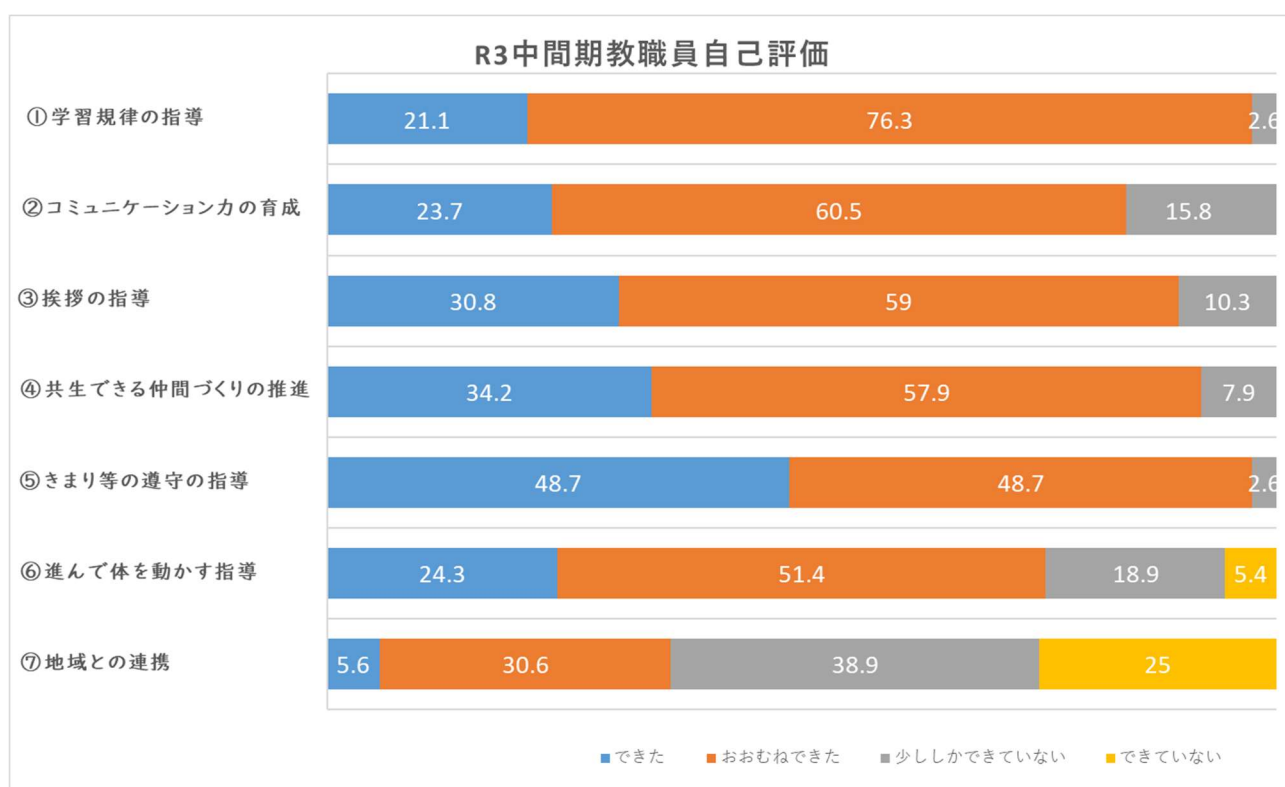


<令和3年度中間期教職員自己評価について>

本校の本年度の重点課題は以下のとおりです。

- 「自ら学び、ともに考え合える子」の育成のために
 - ①学習規律を守り、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
 - ②情報機器等を活用し、学習意欲を高めるとともに、自分の考えをもち、コミュニケーション力を育む指導を行う。
- 「他人を思いやる温かい心をもつ子」の育成のために
 - ③進んで挨拶し、学校のきまりやマナーを守る態度を育成する。
 - ④人権意識を高め、自分も相手も尊重して共生できる仲間づくりを行う。
- 「健康でたくましい子」の育成のために
 - ⑤遊びや運動に親しむ態度の育成を図る。
- 「生駒を愛する子」の育成のために
 - ⑥学校・家庭・地域と連携した協働活動を推進する。

以上の内容が網羅されるように教職員の質問項目を精選し、自己評価を行いました（1学期末実施）。以下にその結果を示すとともに、簡単ですがその考察を記します。



①学習準備を整えさせ、学習規律を守るよう指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、97.4%でした。学習を行うにあたり、まずは、学習規律が大切になってきます。授業の前に学習準備をする、手を挙げて発言するなど、基本的な指導ができていたように思います。その成果があって、

授業中の子どもたちは、静かに落ち着いて学習できている子が多かったです。引き続き、指導していきたいと思います。

②学習意欲を高める工夫をし、自分の考えをもたせたり、話し合い活動をさせたりして、コミュニケーション力を育む。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、84.2%でした。コミュニケーション力を育むには、まず自分の意見、考えをもつこと。昨年度は、コロナ禍のためなかなかできなかったグループ学習ですが、本年度は少しずつ話し合い活動ができていたようです。また、タブレットを活用して効果的に授業を行う教職員が多かったように感じます。ロイロノートなどのアプリを活用して、コミュニケーション力を高める教職員の姿もありました。夏季休業中には、教職員で ICT の研修も行いました。今後も ICT を活用して効率的・効果的に学習を進めていくとともに、さらなる学習意欲の向上を図りたいと思います。

③友だちや先生、地域の方たちに自分から進んで挨拶できるよう指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、89.8%でした。本校の子どもたちの挨拶は、明るく、元気で、とても良い挨拶をする子が多いです。先生方の指導や、地域の方や家庭でのお声掛けのおかげだと感じています。恥ずかしくて目を合わすだけの子、小さい声であいさつする子など様々ですが、自分から進んで挨拶できる子の輪が、さらに広がっていくことを願っています。

④安心して学校生活を送れるよう、人権意識を高め、自分も相手も尊重して共生できる仲間づくりを進める。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、92.1%でした。各クラスで、「ポカポカの木」に取り組んだり、「ありがとうの木」に取り組んだりしました。また、子ども同士でトラブルが起こった際には、担任が仲裁に入ったり、他の教職員と連携を図ったりして、早期の解決を図りました。また、道徳の授業や学校生活全体で、道徳教育に取り組みしました。6月に行ったいじめアンケートでも、詳しく聞き取りをしましたが、大きないじめ事象は確認されませんでした。

⑤マナーやモラル、ルールを守って行動することで安心して学校生活を送れるように指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、97.4%でした。生徒指導関係については、年度当初に教職員で共通理解を図り、一貫した指導に当たっています。廊下を走っている子がいると「歩きましょう」という、いろんな先生方の声がよく聞こえます。今後も子どもたちが安心して学校生活を送れるように指導していきたいと思います。

⑥業間や業前の遊びや体育の授業を通して、進んで体を動かすよう指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、75.7%でした。本校の子どもたちは、昨年度のスポーツテストの結果から、柔軟性、投能力、走能力が県平均よりも低いというデータがあります。本校の子どもたちは、朝から元気よく運動場で遊んでいる子もいるのですが、7月にもなるとその数も減りました。猛暑の時には、なかなか担任も外での運動を積極的に推奨できなかったこともあるかと思います。2学期以降は、気候も良くなってきますので、教職員が積極的に声掛けをしていきたいと思っています。

⑦子どもの学習理解を深めるため、地域に住む方の協力を得るなど、地域との連携を図る。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、36.2%でした。コロナ禍の中、地域の方との交流は、なかなか困難なことです。感染症対策を行いながら教育活動を行っていますが、従来の活動ができていないのが現状です。今後も感染状況を見極めて、教育活動を進めたいと思います。また、本校では、地域学校協働本部が、体制を整えて活動しているところです。今後は、地域の方と学校側とで協働しながら教育活動を進めていくことも考えていきたいと思っています。